

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成  
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		御代志市民センター講堂維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名 合志 新一
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	生涯学習班	(内線) 2421
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市民センター条例	成果優先度評価結果 11 コスト削減優先度評価結果 6
	1	10	5	6	10829			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S62 年度) 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	御代志市民センター講堂の維持管理事業 昭和62年3月に御代志市民センターが開館し、施設の維持管理が必要となった。 築後20年を経過しているため、各所に傷みを生じており、音響・電動イス・照明部品交換等が必要となっている。
【業務の流れ】	御代志市民センター講堂の照明・音響・吊物・電動イスの保守点検を行う
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	施設設備が設置後20年以上が経過し、経年劣化が目立ってきている

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 電動イス保守点検、音響保守点検、照明保守点検、吊物保守点検、照明消耗品の購入	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 電動イス保守点検、音響保守点検、照明保守点検、吊物保守点検、吊物設備修繕
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 御代志市民センター講堂維持管理事業にかかる経費 円 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 御代志市民センター講堂	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ ア 施設面積 m <sup>2</sup> イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設を快適に利用できる	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ⇒ ア 施設維持管理上の不具合・トラブル件数 件 イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 施設管理上の不具合が少なければ、それだけ環境が整備された施設を提供できたことにつながるから	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 円	2,016,000	2,016,000	2,086,000	2,052,000	2,203,000	2,050,000		
⑤ 対象指標	ア m <sup>2</sup>	720	720	720	720	720	720		
⑥ 成果指標	ア 件	0	1	1	2	1	1		
投資 入 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	941	941	1,011	978	1,128	975	
	(A) 事業費計	千円	941	941	1,011	978	1,128	975	0
	(A)のうち指定経費	千円				975	975	975	
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	3	1	1	
	延べ業務時間	時間	270	270	270	295	270	270	
	(B)人件費計	千円	1,072	1,080	1,075	1,174	1,075	1,075	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,013	2,021	2,086	2,152	2,203	2,050	0

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

合志市

事務事業名	御代志市民センター講堂維持管理事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-----------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

照明・音響・吊物・電動イスの設備設置後20年以上経過し、経年劣化により設備の総入れ替えが必要な時期にきているが、これらを全て入れ替えるとなると巨額な費用が必要となる。なお、平成20年度の利用状況は、全37件中、17件が一般利用者によるものだった(他20件は市関連事業による利用)。改修コストと利用状況を踏まえ、今後、講堂のあり方を検討する必要がある。類似施設に合志市総合センター文化会館がある。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

文化会館維持管理事業へ統合したら、御代志市民センター講堂維持管理事業費が全て削減できるが、利用者の使用時間帯をめぐる競合が起きたり、須屋地域の住民の利便性が損なわれる恐れがある。